



2010-11



RIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」会長/RayKliginsmith(米国)
2620地区のテーマ「ロータリアン、奉仕をクラブへ地域へ」ガバナー/中山正邦
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「見つける明日、見つめる原点」会長/坂井光蔵

週報

第364回例会 9月28日(火)AM7:30~8:30 オークラホテル4F 平安の間
■司会:金山土州 ■点鐘:坂井光蔵 ■ロータリーソング:夢のみずうみ
■ゲスト:?

会長挨拶

先週9/18に塩谷立さん達とゴルフをやりスコア81でした。翌日の19日は3RC合同(中・ハーモニー・パワー)のゴルフコンペがあり、これなら上位を狙えるスコアだと密かに思いながら参加しましたが、結果は96と散々でした。2日連続は大変きつかったです。また、23日には交換留学生のセシルさんとホストファミリーの仲秋負債そして堀内夫妻と島田市にある10本杉(1000年杉)にハイキングへ行きました。胴周り8M以上もある大きな杉の木に圧倒され自然は良いなと思いました。先日、ラジオ放送で森林崩壊を取り上げていました。昭和30年代に木材の輸入が自由化になり、安いという理由から外国産の木材が多量に輸入され、国内の木材が売れなくなってしまったという事でした。その当時から、日本が戦略的にコントロールしていれば現在の様な状況になっていなかったと思います。今、見直していかなければ、日本の森林は崩壊の一途を辿り取り返しのつかない状況になると思います。

幹事報告

1. 第2620地区大会の出欠確認を受付でしております。開催日;11月14日(日)、場所;グランドホテル浜松 多数のご参加をお願い致します。
2. 10/12(火)の第366回例会は、中山正邦ガバナーの公式訪問です。万障お繰り合わせで、多数のご出席をお願い致します。
3. 本日、例会終了後 8:40~理事会が3Fチェルシーの間で開催されます。出席義務者の方は、ご出席をお願いします。

委員会報告

■ゴルフ同好会・近藤雅彦
去る9月19日、中RC、ハーモニーRC、パワーRCの3RC合同コンペがレイクCCで開催されました。団体戦は最下位となってしまいましたが、飛び賞はすべてパワーで頂きました。皆様のご参加をお待ちしております。



後藤 達朗さん

スマイル

驚津有一; メールボックスに挨拶状を入れさせて頂きましたが、10月1日より株式会社アプライズと社名を変えます。4月から社内に於いてCIを行い、「印刷と他のメディアを複合的に駆使し、情報加工サービスをワンストップで提供する事により、お客様の様々な課題解決に寄与する事を通じて、お客様の業績を高めるお手伝い出来る存在になろう」という意味を込めた社名です。名に恥じない会社になる様に頑張ります。今後も宜しくお願い致します。近藤雅彦; 9/19(日)3RC合同コンペで残念ながら最下位になってしまいました。私が幹事でしたので最下位にも賞金を付けました。スマイルさせて頂きます。高木一浩; 9/18に東京の国立競技場に於いて全国マスターズ陸上選手権大会が行われ今回は、初めて走り幅跳びに参加しました。目標の5Mには達しませんでした。何とか入賞し結果は5位。いつもの100Mは走り幅跳びで足を痛め棄権しました。いつも乍ら元気なお爺ちゃん、お婆ちゃんからパワーを貰って帰ってきました。藤田允; 熊谷先生、有意義なお話を有り難うございました。お身体に気を付けて素晴らしい作品を沢山発表して下さい。

出席報告 85名中61名72.09%
前々回修正出席率



卓話者の熊谷様



ハッピーバースティの鈴木さん



2010-11



RIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」会長/RayKliginsmith(米国)
2620地区のテーマ「ロータリアン、奉仕をクラブへ地域へ」ガバナー/中山正邦
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「見つける明日、見つめる原点」会長/坂井光蔵

議事卓話

「遠州の歴史 ～井伊家を中心に～」

第364回例会
2010/9/28

卓話者 熊谷 三夫様



浜松地方として忘れられないのは家康であり、彼が戦国、浜松城主の時代、大苦勞された。毎日が合戦であり、姉川、三方ヶ原、長篠、小牧長久手等の大きなものから、小さいのは数知れず。その中で唯一、三方ヶ原の負け戦は“顰(しか)め像”の肖像画を自身が大負けをした戒めとして残し、以降、負ける戦(いくさ)はしてはいけないという教訓を得、有名な「人の一生は重荷を背負いて・・・」のくだりを残した。宮本武蔵も似たようなところがあり、柳生の守(かみ)等の相手の力量をよく把握し、絶対に負ける戦いはしなかった。家康は、三方ヶ原の負け戦で遠州地方を敗走し、阿弥陀、小粥、曾布川、三島の方、片身のスズキ、舘山寺までの逃げた話、白洲町でソーメン谷、花川、家康の隠れ里等、そのいわれは数多い。従って5人の影武者を使っていたという話もまんざらでもなかろうと思う。有名な小豆餅の話もある。奈良時代には既に文献には表記のある地名であるが、学生が小豆餅のいわれ、その食文化を論文として取り組んでも面白いのでは。徳川四天王の一人、42歳で関ヶ原の戦いで散った井伊直政は生まれ遠州井伊谷である。大久保彦左衛門と年齢差はあったが親しかったようだ。その大久保氏の末裔が浜松の大久保外科さんである。15歳の元服を迎えるまで、直親の遺児であった虎松(後の直政)の養育係(養母)を務めたのが、直政のはとこである、井伊正虎、別名、次郎法師という女性であった。祝田で家康に直政が仕えることをお願いした人物でもある。次郎法師は井伊家を再興させた陰の功労者ともいえ、長らくわからなかった墓石も龍潭寺に熊谷氏が探し当てた。家康の負け戦、三方ヶ原の時のエピソード。鳳来寺街道仏坂、竹馬寺の山頂に祀られている行基菩薩お手作りとされる十一面観世音菩薩が武田軍の方で取り払いとなりかけたところ、地元民の信仰の厚さに次郎法師改め祐圓尼(ゆうえんに)は相手方の軍師に対し田村麻呂将軍と清水寺の千手観音の話为例に出し、その撤去を差し止めたのである。

～所感～ 熊谷氏の話は、ユーモアも交え講談を語るが如く、話も具体的に多岐にわたり、同じ遠州に今の時代を生きる私達にも誇りと勇気を沸き立った。もっともっと聴いていたい、そんな感じのした卓話であった。

卓話者経歴:

挿絵・版画家、歴史小説家、浜松東区見聞録編集委員会編集委員

浜松市出身、浜松北高、早稲田大学(理工学部)卒

・早稲田大学理工学部の校舎に隣接していた坪内逍遥記念館を訪れる中で、歌舞伎の舞台の再現や浮世絵の展示等に触れ、江戸時代にタイムスリップをしたような感覚を覚え、大学の実験室を抜け出しては記念館に足を運ぶ。やがて、挿絵作家として著名な 中 一弥(なか かずや)師の門下生となり、歴史・時代小説の挿絵を描き始める。

・松菱百貨店で版画展を開催、同店閉店後はギャラリー双鶴にて版画展を隔年開催。

PR: DMカードを全会員にお配り致しました。ご来駕ご高覧をお待ち申し上げます。

【 熊谷三夫新作版画展 ～秋競本邦名花選～(秋に競う日本の名花のいろいろ) 】

会期:平成22年11月1日(月)～11月7日(日) 午前10時～午後6時

会場:ギャラリー双鶴 (浜松市中区常盤町143-27 電話053-455-8025)

(クリエート浜松の西、旧遠州病院の北側、駐車場有り)

※日本美の素晴らしさを、美へ寄せる版画家の想いを込めて贈ります。

洗練された手法で具象化された作品展です。

～ 9月28日の卓話も感激致しましたが、更なる熊谷三夫先生の魅力を知る機会です。

皆さん、どうぞ (藤田允、堀内善弘)

POWER

パワー浜松ロータリークラブ

〒430-7733

静岡県浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室

Email info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp/

Tel/Fax 053-452-0800